

弓道専門部

専門部長 今田 康光

専門委員長 原 奈緒子

1. 昨年度の大会について

新人大会、九州新人選手権大会

新チームになって初めての県大会である。中には公式戦自体が初めてとなる1年生も出場する。1チーム5名で予選2立（1チーム合計40射）を行い、上位5チームで決勝リーグ戦を行う。女子は早稲田佐賀Aが4戦全勝優勝、次いで武雄が3勝1敗で2位、早稲田佐賀Bが2勝2敗で3位となった。男子は早稲田佐賀、小城、致遠館が3勝1敗で並んだが、総的中数で早稲田佐賀1位、小城2位、致遠館3位となった。

女子個人戦は8射皆中の青木彩桜（早佐）が優勝。以下7中の選手が並んだが、競射の結果、2位松永智里（伊高）、3位松田芳佳（早佐）であった。男子個人は8射6中の選手が並び、競射の結果、干場隆生（小城）が優勝。以下2位藤田仁之介（致遠）、3位吉永優良（唐西）であった。

九州新人選手権大会は当初沖縄で開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催地を長崎県佐世保市に変更して行われた。団体1～4位、個人1～3位が出場した。

高校選手権大会兼全国選抜大会佐賀県予選会

1チーム3名で予選3立（1チーム合計36射）を行い、上位5チームで決勝リーグ戦を行う。女子は早稲田佐賀が4戦全勝で優勝。男子も早稲田佐賀が3勝1敗で優勝し、男女ともに全国大会への出場を果たした。個人戦は女子では12射10中で内田莉乃（早佐）と江口弥希（武雄）が並んだが競射の末、内田が優勝、江口が2位となった。男子個人では12射9中で干場隆生（小城）と筒井遥己（佐北）が並んだが、競射により干場が優勝、筒井が2位となった。

男女団体優勝校と個人1・2位の選手が茨城県で開催された第40回全国高校選抜弓道大会に参加した。

U-16大会

H30年度より大会名を「U-16大会」とし、中学生からの参加も可能となった。R6年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1チーム3名で予選2立（1チーム合計24射）を行い、上位8チームで決勝トーナメントを行う。女子団体は武雄Dが優勝、2位佐賀西Aであった。男子団体は早稲田佐賀Bが優勝、2位佐賀北Aであった。女子個人では8射6中の選手が並んだが、競射により福永凜奈（致遠）が優勝、2位砂嶽桃菜（清和）、3位大丸美寿姫（佐西）であった。男子個人では8射7中で熊谷将希（早佐）が優勝、5中が並んだが、中島弘太郎（佐西）が2位、前川航（唐商）が3位となった。

高校2年生大会

平成25年度から新たに創設した県内大会である。全国選抜大会が3月から12月へと時期を早め、それに伴い県予選も早まったため、4月まで約5ヶ月間も実力を試す機会が無いことを憂え、2年生の強化、またR6年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1チーム3名で予選2立（1チーム合計24射）を行い、上位12チームで決勝トーナメントを行う。女子団体は優勝武雄A、2位佐賀北A、男子団体は優勝小城A、2位龍谷Aであった。女子個人では8射7中で小野原暖花（鹿島）が優勝、次いで6中が並んだが、松本夏音（致遠）が2位、丹野優泉子（早佐）が3位であった。男子個人では8射7中で中村裕河（佐西）が優勝、次いで6中が並んだが、大河内朝陽（早佐）が2位、手島琉貴（早佐）が3位であった。

遠の錬成大会

平成29年度より、国体強化を視野に入れて創設した県内大会である。例年武雄高校のグラウンドで、1チーム4名で予選2立、的中制で行われている。雨天により1立目で競技を打ち切り、順位決定戦を行わず、同順位で表彰を行った。女子団体は1位佐賀北A、鹿島A、武雄A、鹿島Bであった。男子団体は1位太良A、2位伊万里A、鹿島Aであった。女子個人は1位井手美歩（伊高）、堀田紗那（唐東）、島川実也（佐西）、草場心温（武雄）、野口梨菜（多久）であった。男子個人は、1位竹本悠大（太良）、吉村晏司（太良）、林田祐人（鹿島）、片倉希望（多久）であった。

2. 今年度の大会について

春季大会(高取杯)

年度の初めは佐賀県弓道連盟主催の春季大会から始まる。この大会は「高取杯」として佐賀県弓道界に功績の大きかった故・高取盛範士を顕彰して開催されるものである。1 チーム5 名で予選2 立(1 チーム合計40 射)を行い上位16 チームによるトーナメント戦で勝敗を喫する。この大会は例年、佐賀県高校総合体育大会の前哨戦として注目されている。

女子団体は武雄A が優勝、2 位佐賀女子A、3 位武雄B であった。男子団体は伊万里A が優勝、2 位小城、3 位鹿島であった。女子個人は8 射7 中で橋口嘉乃(武雄)が優勝、次いで6 中が並んだが、競射により2 位下村早希(佐女)、3 位田中佑依(佐女)であった。男子個人は8 射皆中で田中瑛一朗(佐西)が優勝、7 中で2 位干場隆生(小城)、6 中で3 位廣島巧(唐西)であった。

高校総体

1 チーム5 名で予選3 立(1 チーム合計60 射)を行い上位7 チームによるリーグ戦で勝敗を喫する。本大会を目標にしている選手も多く、毎年熱い試合が行われる。団体男女優勝校が全国大会、優勝および2 位が九州大会へ出場、個人男女優勝および2 位が全国大会、1 位から5 位までの選手が九州大会へ出場する。

女子団体は早稲田佐賀が優勝、2 位鹿島、3 位武雄であった。男子団体は武雄が優勝、2 位鹿島、3 位小城であった。女子個人は堀田紗那(唐東)が優勝、2 位白武璃己(鹿島)、3 位副島優莉(唐東)、4 位井手美歩(伊高)、5 位小生さくら(武雄)であった。男子個人は馬場偉月(鹿島)が優勝、2 位鈴木朝日(早佐)、3 位山下琢磨(鹿島)、4 位園田涼人(佐西)、5 位吉永優良(唐西)であった。

九州ブロック国体・本国体(とちぎ国体)

九州ブロック国体では、少年男子(小笠原(鹿島)、阪本(武雄)、馬場(鹿島))が総合6 位、少年女子(大江(鹿島)、野中(武雄)、橋口(武雄))がともに総合2 位となり、女子が本国体出場を果たした。

また本国体では遠的で8 位入賞、近的では3 位入賞を果たした。

新人大会、九州新人選手権大会

新チームになって初めての県大会である。中には公式戦自体が初めてとなる1 年生も出場する。1 チーム5 名で予選2 立(1 チーム合計40 射)を行い、上位5 チームで決勝リーグ戦を行う。女子は武雄B が4 戦全勝優勝、次いで3 勝1 敗で佐賀女子A が2 位、早稲田佐賀A が2 勝2 敗で3 位となった。男子は早稲田佐賀A が3 勝1 敗で優勝、2 勝2 敗で3 校が並んだが、総的中数で武雄A が2 位、佐賀北A が3 位となった。

女子個人戦は8 射皆中の石橋希実(早佐)が優勝。以下6 中の選手が並んだが、競射の結果、2 位多田菜々子(早佐)、3 位北晴奈(武雄)であった。男子個人は8 射7 中の選手が並び、競射の結果、佐々木拓馬(佐北)が優勝。以下2 位園田涼人(佐西)、3 位後藤大志(佐北)であった。

九州新人選手権大会は本県で開催された。男子団体で早稲田佐賀が準優勝を果し、女子団体は武雄が3 位に入賞した。また個人では女子で石橋(早佐)が準優勝、多田(早佐)が4 位であった。

高校選手権大会兼全国選抜大会佐賀県予選会

1 チーム3 名で予選3 立(1 チーム合計36 射)を行い、上位5 チームで決勝リーグ戦を行う。女子は武雄A が4 戦全勝で優勝、男子は早稲田佐賀が3 勝1 敗で優勝し、全国大会への出場を果たした。(早稲田男子は5 連覇)。個人戦は女子では12 射9 中で古川桃世(清和)と一ノ瀬千咲(鹿島)が並んだが競射の末、古川が優勝、一ノ瀬が2 位となった。男子個人では12 射10 中で中村颯希(早佐)と吉村晏司(太良)が並んだが、競射により中村が優勝、吉村が2 位となった。

男女団体優勝校と個人1・2 位の選手が熊本県で開催された第41 回全国高校選抜弓道大会に参加した。

U-16 大会

H30 年度より大会名を「U-16 大会」とし、中学生からの参加も可能となった。R6 年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1 チーム3 名で予選2 立(1 チーム合計24 射)を行い、上位8 チーム

ムで決勝トーナメントを行う。女子団体は鹿島 A が優勝、2 位武雄 D であった。男子団体は早稲田佐賀 G が優勝、2 位早稲田佐賀 D であった。女子個人では 8 射 7 中の選手が並んだが、競射により林心咲（鹿島）が優勝、2 位佐藤琉香（早佐）、3 位安部眞生（唐東）であった。男子個人では 8 射 6 中の選手が並んだが、中島脩吾（唐工）が優勝、2 位川寄俊輔（唐西）、3 位岩原圭汰（早佐）であった。

高校 2 年生大会

平成 25 年度から新たに創設した県内大会である。全国選抜大会が 3 月から 12 月へと時期を早め、それに伴い県予選も早まったため、4 月まで約 5 ヶ月間も実力を試す機会が無いことを憂え、2 年生の強化、また R6 年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1 チーム 3 名で予選 2 立（1 チーム合計 24 射）を行い、上位 12 チームで決勝トーナメントを行う。女子団体は優勝武雄 A、2 位佐賀女子 A、男子団体は優勝太良 A、2 位致遠館 A であった。女子個人では 8 射皆中で八田遥心（武雄）が優勝、次いで 7 中が並んだが、北晴奈（武雄）が 2 位、大塚美咲（鹿島）が 3 位であった。男子個人では 8 射 7 中の選手が並んだが、中島弘太郎（佐西）が優勝、明保能春希（早佐）が 2 位、山崎功大（武雄）が 3 位であった。

遠的錬成大会

平成 29 年度より、国体強化を視野に入れて創設した県内大会である。昨年度までは武雄高校のグラウンドで行っていたが、今年度より多久市緑が丘弓道場に場所を移して開催した。また競技方法についても国スポを見据えた個人選手の選考の一環として、団体戦をなくし、個人戦のみとして実施した。各自予選 4 射で 3 点以上を通過とし、決勝で 4 射、予選と併せて計 8 射での合計点数上位から順位を決定した。女子個人は中村優里（武雄）と古賀由夏（武雄）が得点 36 点、的中数 5 中で並んだが、競射の結果中村が優勝、古賀が 2 位となった。3 位は大塚美咲（鹿島）が 36 点 4 中であった。男子個人は、光武海惺（太良）と村田紘詩（佐北）が 34 点で並んだが、的中数差で光武が優勝、村田が 2 位となった。3 位は吉村晏司（太良）32 点であった。

3. 弓道専門部活動について

令和元年度末より、新型コロナウイルスの影響で例年通りの練習や試合が行えず、新チームになってからも県大会はできても上位大会が中止になる大会もありました。今年度は上位大会も開催されるようになり、生徒たちの励みともなっています。

令和 6 年に佐賀県で行われる国民スポーツ大会を見据えて平成 29 年度より新たに遠的大会を新設しました。国体では近的と遠的の 2 種目を行いますが、現在、高校生が参加する遠的大会が国体の予選会しかないため、遠的に触れる機会が少ないのが実状です。そのため生徒の国体参加への意識向上と顧問の指導力向上を目的とし新設することとなりました。また、平成 30 年度より弓道 1 年生錬成大会の名称を国民スポーツ大会強化競技力向上推進事業にかかる佐賀県弓道錬成大会（U-16 大会）としました。これまでは高校 1 年生のみが参加できる大会でしたが、参加の対象を中学生まで広げ、競技力の向上に取り組みました。遠的大会や U-16 大会、2 年生大会を契機に遠的競技にも親しみをもち、弓道の裾野を少しでも広げることができればと思います。国スポの会場として多久市緑が丘弓道場が建設され、今年度より高校生の大会は全てそちらで行いました。立派な道場で、生徒たちはのびのびと弓を引いています。また今年度は九州新人大会が本県開催でありました。九州各県の強豪校の射を間近で見ることができたのは、生徒たちの刺激になったことと思います。

最後になりましたが、日頃から、佐賀県高校弓道へのご理解とご協力を賜っている佐賀県弓道連盟、佐賀県高等学校体育連盟をはじめ、県内高校弓道関係者の皆様に心より感謝いたします。また、今後とも佐賀県高校弓道部員と弓道専門部にお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

4. 県内大会結果

令和3年度

大会	区 分		1位	2位	3位
春季大会	男子	個人	園田 佑星 (唐工) 8中	霧林 奏 (武雄) 7中	森永光之輔 (致遠) 7中
		団体	唐津工 A 11/15/11/13	武雄高 A 11/17/11/11	小城高 A・武雄高 B
	女子	個人	永田 桐子 (唐東) 8中	橋川 莉奈 (佐西) 7中	炭屋 杏 (佐女) 7中
		団体	早稲佐 A 14/11/14/13	武雄高 A 10/12/11/12	小城高 A・佐女子 A
高校総体	男子	個人	① 大川 翔吏 (早佐)	② 末永 脩 (唐工)	③ 市橋 健成 (早佐)
			④ 迎 青龍 (武雄)	⑤ 右近 真基 (小城)	⑥ 香田 遼馬 (白石)
		団体	武雄高 A 6勝0敗 84中	鹿島高 A 5勝1敗 77中	唐津東 A 3勝3敗 70中
	女子	個人	① 永田 桐子 (唐東)	② 山崎 彩也香 (佐女)	③ 岩瀬 彩 (早佐)
			④ 田島 史奈 (早佐)	⑤ 藤 みどり (武雄)	⑥ 中島 常葉 (致遠)
		団体	唐津東 A 5勝1敗 72中	武雄高 A 4勝2敗 72中	早稲佐 B 4勝2敗 64中
国体選考	遠的	男子	吉川 幸大 (唐商) 50点	松尾 海渡 (武雄) 44点	馬場 偉月 (鹿島) 44点
		女子	狩長 愛璃 (佐女) 58点	山口 舞花 (鹿島) 52点	野口 萌花 (武雄) 49点
	近的	男子	園田 佑星 (唐工) 9中	末永 脩 (唐工) 8中	原田 健心 (伊高) 8中
		女子	池田 彩佳 (鹿島) 8中	野口 萌花 (武雄) 8中	青木 唯 (佐北) 7中
新人大会	男子	個人	① 干場 隆生 (小城) 6中	② 藤田 仁之介 (致遠) 6中	③ 古永 優良 (唐西) 6中
			④ 川路 大智 (小城) 6中	⑤ 井本 幸希 (早佐) 5中	
		団体	早稲佐 A 3勝1敗 46中	小城高 A 3勝1敗 43中	致遠館 A 3勝1敗 42中
	女子	個人	① 青木 彩桜 (早佐) 8中	② 松永 智里 (伊高) 7中	③ 松田 芳佳 (早佐) 7中
			④ 高橋 朱純 (伊高) 6中	⑤ 堀田 紗那 (唐東) 6中	
		団体	早稲佐 A 4勝0敗 53中	武雄高 A 3勝1敗 44中	早稲佐 B 2勝2敗 33中
兼全国選拔予選	男子	個人	干場 隆生 (小城) 9中	筒井 遥己 (佐北) 9中	井本 幸希 (早佐) 8中
		団体	早稲佐 A 3勝1敗 32中	小城高 A 2勝2敗 30中	伊万里 A 2勝2敗 22中
	女子	個人	内田 莉乃 (早佐) 10中	江口 弥希 (武雄) 10中	澤田 里梨香 (佐北) 10中
		団体	早稲佐 A 4勝0敗 36中	武雄高 B 2勝2敗 29中	早稲佐 B 2勝2敗 24中
C-1の大会	男子	個人	熊谷 将希 (早佐) 7中	中島 弘太郎 (佐西) 5中	前川 航 (唐商) 5中
		団体	早稲佐 B 7/6/4	佐賀北 A 6/3/3	早稲佐 D・太良 A
	女子	個人	福永 凜奈 (致遠) 6中	砂嶽 桃菜 (清和) 6中	大丸 美寿姫 (佐西) 6中
		団体	武雄高 D 4/6/6	佐賀西 A 7/4/4	清和高 A・武雄高 H
2年生大会	男子	個人	中村 裕河 (佐西) 7中	大河内 朝陽 (早佐) 6中	手島 琉貴 (早佐) 6中
		団体	小城高 A 6/7/8	龍谷 A 6/6/6/5	佐賀西 A・鹿島高 B
	女子	個人	小野原 暖花 (鹿島) 7中	松本 夏音 (致遠) 6中	丹野 優泉子 (早佐) 6中
		団体	武雄高 A 8/5/9/8	佐賀北 A 6/7/7/6	鹿島高 A・鹿島高 B
遠的大会	男子	個人	3中 竹本悠大 (太良)・吉村晏司 (太良)・林田祐人 (鹿島)・片倉希望 (多久)		
		団体	太良高 A 7中	伊万里 A 6中	鹿島高 A 6中
	女子	個人	3中 井手美歩 (伊高)・堀田紗那 (唐東)・島川実也 (佐西)・草場心温 (武雄)・野口梨菜 (多久)		
		団体	6中 佐賀北 A ・ 鹿島 A ・ 武雄 A ・ 鹿島 B		

令和4年度

大会	区 分		1位	2位	3位
春季大会	男子	個人	田中 瑛一朗 (佐西) 8中	干場 隆生 (小城) 7中	廣島 巧 (唐西) 6中
		団体	伊万里A 9/14/13/11	小城高A 12/14/13/10	鹿島高A・武雄高A
	女子	個人	橋口 嘉乃 (武雄) 7中	下村 早希 (佐女) 6中	田中 佑依 (佐女) 6中
		団体	武雄高A 17/15/14/13	佐女子A 10/ 9/12/ 9	武雄高B・小城高A
高校総体	男子	個人	① 馬場 偉月 (鹿島)	② 鈴木 朝日 (早佐)	③ 山下 琢磨 (鹿島)
			④ 園田 涼人 (佐西)	⑤ 吉永 優良 (唐西)	⑥ 干場 隆生 (小城)
		団体	武雄高A 6勝0敗 70中	鹿島高A 4勝2敗 69中	小城高A 4勝2敗 65中
	女子	個人	① 堀田 紗那 (唐東)	② 白武 璃己 (鹿島)	③ 副島 優莉 (唐東)
			④ 井手 美歩 (伊高)	⑤ 小生さくら (武雄)	⑥ 青木 彩桜 (早佐)
		団体	早稲佐A 6勝0敗 74中	鹿島高A 5勝1敗 78中	武雄高A 3勝3敗 75中
国体選考	遠的	男子	小笠原恭太 (鹿島) 56点	阪本 優心 (武雄) 49点	竹本 悠大 (太良) 48点
		女子	橋口 嘉乃 (武雄) 72点	野村 姫雛 (佐北) 64点	野中 理加 (武雄) 56点
	近的	男子	馬場 偉月 (鹿島) 10中	山本 拓海 (太良) 9中	川津 宗永 (唐西) 8中
		女子	野中 理加 (武雄) 11中	古賀 由夏 (武雄) 9中	橋口 嘉乃 (武雄) 7中
新人大会	男子	個人	⑥ 佐々木拓馬 (佐北) 7中	⑦ 園田 涼人 (佐西) 7中	⑧ 後藤 大志 (佐北) 7中
			⑨ 大町 優冬 (鹿島) 6中	⑩ 大賀 一正 (武雄) 6中	
		団体	早稲佐A 3勝1敗 46中	武雄高A 2勝2敗 44中	佐北高A 2勝2敗 39中
	女子	個人	⑥ 石橋 希実 (早佐) 8中	⑦ 多田菜々子 (早佐) 6中	⑧ 北 晴奈 (武雄) 6中
			⑨ 齋藤茉那美 (佐女) 6中	⑩ 三島 円 (早佐) 6中	
		団体	武雄高B 4勝0敗 43中	佐女子A 3勝1敗 41中	早稲佐A 2勝2敗 46中
美玉国選抜予選	男子	個人	中村 颯希 (早佐) 10中	吉村 晏司 (太良) 10中	幸島 由英 (唐東) 10中
		団体	早稲佐B 3勝1敗 32中	武雄高A 2勝2敗 24中	佐清和A 2勝2敗 22中
	女子	個人	古川 桃世 (佐女) 9中	一ノ瀬千咲 (鹿島) 9中	光吉 有咲 (武雄) 8中
		団体	武雄高A 4勝0敗 35中	鹿島高A 3勝1敗 28中	伊万里A 1勝3敗 23中
C1の大会	男子	個人	中島 脩吾 (唐工) 6中	川崎 俊輔 (唐西) 6中	岩原 圭汰 (早佐) 6中
		団体	早稲佐G 9/7/9	早稲佐D 7/6/8	唐西高A・白石高A
	女子	個人	林 心咲 (鹿島) 7中	佐藤 琉香 (早佐) 7中	安部 眞生 (唐東) 7中
		団体	鹿島高A 4/6/8	武雄高D 7/8/6	早稲佐E・武雄高A
2年生大会	男子	個人	中島 弘太郎 (佐西) 7中	明保能 春希 (早佐) 7中	山崎 功大 (武雄) 7中
		団体	太良高A 7/7/9/9	致遠館A 7/6/6	佐西高A・唐西高A
	女子	個人	八田 遥心 (武雄) 8中	北 晴奈 (武雄) 7中	大塚 美咲 (鹿島) 7中
		団体	武雄高A 8/8/8	佐女子A 9/5/7	佐西高A・早稲佐A
大会 遠的	男子	個人	光武 海惺 (太良) 34点5中	村田 紘詩 (佐北) 34点4中	吉村 晏司 (太良) 32点
	女子	個人	中村 優里 (武雄) 36点5中	古賀 由夏 (武雄) 36点5中	大塚 美咲 (鹿島) 36点4中

5. 九州大会・全国大会の成績

【令和3年度】

第66回 全九州高校弓道競技大会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

第66回 全国高等学校弓道大会（謙信公武道館：新潟県上越市）

男子団体 武雄高 予選 11中／20射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 慶応（神奈川） 9－14で敗退

女子団体 唐津東 予選 11中／20射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 島田商（静岡）10－13で敗退

男子個人 早稲佐 大川翔吏 2中で予選敗退
唐津工 末永 脩 2中で予選敗退

女子個人 唐津東 永田桐子 2中で予選敗退
佐女子 山崎彩也香 2中で予選敗退

第41回 九州ブロック国体（博多の森弓道場：福岡県福岡市）

少年男子（園田（唐工）、吉川（唐商）、松尾（武雄）） 総合4位

少年女子（山口（鹿島）、小野原（鹿島）、野口（武雄）） 総合4位

第29回 九州高校弓道新人選手権大会（長崎県立武道館：長崎県佐世保市）

男子団体 小城高 予選 15中／40射で敗退
鹿島高 予選 16中／40射で敗退
早稲佐 予選 17中／40射で敗退
致遠館 予選 15中／40射で敗退

女子団体 早稲佐 予選 31中／40射で通過
決勝トーナメント 1回戦 対 秀岳館（熊本）11－11
競射 2－4 で敗退
佐賀西 予選 16中／40射で敗退
伊万里 予選 15中／40射で敗退
武雄高 予選 19中／40射で敗退

男子個人 小城高 干場隆生 8中で予選通過 決勝 射詰6本目で敗退 4位入賞
致遠館 藤田仁之介 3中で予選敗退
唐津西 吉永優良 5中で予選敗退

女子個人 伊万里 松永智里 4中で予選敗退
早稲佐 青木彩桜 6中で予選通過 決勝 射詰4本目で敗退 遠近で5位入賞
早稲佐 松田芳佳 7中で予選通過 決勝 射詰1本目で敗退

第40回 全国高校選抜弓道大会（アダストリア みと アリーナ：水戸市）

男子団体 早稲佐 予選 5中／12射で敗退

女子団体 早稲佐 予選 8中／12射で通過
決勝トーナメント 1回戦 対 甲南女子（兵庫）7－8 で敗退

男子個人 小城高 干場隆生 3中で予選通過 準決勝 2中で敗退
佐賀北 筒井遥己 3中で予選通過 準決勝 1中で敗退

女子個人 早稲佐 内田莉乃 1中で予選敗退
武雄高 江口弥希 2中で予選敗退

【令和4年度】

第68回 全九州高校弓道競技大会

男子団体 予選通過ライン：23中

武雄高 予選 25中／40射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 国東（大分） 8－13で敗退

鹿島高 予選 17中／40射で敗退

女子団体 予選通過ライン：23中

早稲佐 予選 20中／40射で敗退

鹿島高 予選 27中／40射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 興南（沖縄） 11－9で勝ち
2回戦 対 宮崎商業（宮崎） 13－13
競射 3－3
3－5で敗退 3位入賞

男子個人 予選通過ライン：9中

鹿島高 馬場 偉月 5中で予選敗退
早稲佐 鈴木 朝日 9中で予選通過 決勝 射詰9本目で優勝
鹿島高 山下 琢磨 6中で予選敗退
佐賀西 園田 涼人 5中で予選敗退
唐津西 吉永 優良 6中で予選敗退

女子個人 予選通過ライン：8中

唐津東 堀田 紗那 5中で予選敗退
鹿島高 白武 璃己 4中で予選敗退
唐津東 副島 優莉 1中で予選敗退
伊万里 井手 美歩 7中で予選敗退
武雄高 小生さくら 9中で予選通過 決勝 射詰2本目で敗退

第67回 全国高等学校弓道大会

男子団体 予選通過ライン：11中で競射

武雄高 予選 8中／20射で敗退

女子団体 予選通過ライン：9中

早稲佐 予選 5中／20射で敗退

男子個人 1次予選・2次予選ともに3中以上で通過

鹿島高 馬場 偉月 1中で予選敗退
早稲佐 鈴木 朝日 2中で予選敗退

女子個人 1次予選・2次予選ともに3中以上で通過

唐津東 堀田 紗那 2中で予選敗退
鹿島高 白武 璃己 1中で予選敗退

第42回 九州ブロック国体

少年男子（小笠原（鹿島）、阪本（武雄）、馬場（鹿島））遠的3位、近的8位 総合6位

少年女子（大江（鹿島）、野中（武雄）、橋口（武雄））遠的2位、近的2位 総合2位 本国体出場

第77回 国民体育大会いちご一会とちぎ国体

少年女子（大江（鹿島）、野中（武雄）、橋口（武雄））

遠的予選 大江35点、野中34点、橋口37点 計106点 7位で予選通過

決勝トーナメント1回戦 佐賀 53点（大江20点、野中12点、橋口21点） — 55点 栃木
5～8位順位決定戦 大江9点、野中3点、橋口5点 計17点 8位入賞

